

# 第9回 川の日」ワークショップ

## “いい川” “いい川づくり”募集!!

地域の人たちによって愛され、守られている水辺、行政等によるさまざまな整備、事業など、全国で川や水辺をテーマにした取り組みが、多様な主体、連携によって、さまざまな形で展開されています。

川や水辺の環境の保全や改善について、どのように取り組んでいけばいいのか、またどのような事業のあり方が望ましいのか。川を管理する立場と、その川と常につきあい将来も関わり続ける住民の立場とで、ともに「いい川とは何か」を自由に柔軟に探ろうというのが、このワークショップの目的です。住民（団体）や行政がそれぞれ関わっている川や水辺の具体例を募集し、「公開選考会」という方法で評価しあいます。

7月7日「川の日」の記念行事として1998年にスタートしたこのワークショップは、これまでに約600件の応募があり、毎回400名以上の参加者が活発な議論を繰り広げています。子どもの活動や韓国のNGO、地域ブロック大会の参加者、学生スタッフの参加など、異分野、国際、流域、世代間と広がってきました。対象となるフィールドも、河川から、源流域や用水路、湖沼、河口域、海浜といった多様な水辺やまちづくり、地域づくりなどにも拡大してきました。今大会では、さらに下水の浄化水等新たな水源や水路を作った事例も対象とします。

今大会もさらなる出会いと発見の場になるよう、また、節目となる来年の第10回大会に向けた物語をつむいでいけるような大会にしたいと思います。多くの方々の応募、参加をお待ちしています！

**日 時：2006年 7月22日（土）午後1時開会  
23日（日）午後4時頃閉会**

\*7/22：午後1時開会～午後5時（全体集会、一次選考） 午後7時頃から懇親会  
\*7/23：午前9時～午後4時（復活選考、二次選考及び公開討論会など）\*時間は予定

**会 場：（22日）国立オリンピック記念青少年総合センター**

（渋谷区代々木神園町・新宿駅から小田急線 参宮橋駅より5分）

**（23日）明治神宮参集殿**（渋谷区代々木神園町・原宿駅から徒歩より10分）

**主 催：川の日」ワークショップ実行委員会**

実行委員長 宮口 遼、総合コーディネーター 延藤 安弘、他約150名  
協力団体 NPO法人 全国水環境交流会、社団法人 日本河川協会、NPO法人 自然環境復元協会



### 「川の日」ワークショップとは？ - 公開選考会の目的と方法 -

“いい川”って何だろう？・・・みんなで“いい川”を持ち寄り、それぞれの川の「タカラモノ」に光を当て、「“いい川” “いい川づくり”とは何か」を探ります。選考のプロセスの中で、知恵や元気を分かち合いながら、共通のイメージを育てていきます。

**応募者は**・・・自由な表現方法で発表、アピールします。1件につき発表3分・質疑7分という限られた時間の中で、工夫を凝らし発表してください。日頃の取り組みを発表すること、意見交換、参加者との交流を通じて、新たな発見、取り組みのエネルギーをつかんでください。

**選考会のプロセスは**・・・一次選考（テーマ別グループ討論）、復活選考、二次選考（全体会場）、公開討論会となっています。この過程の中で“いい川” “いい川づくり”について、参加者とともに議論を深めていきます。

**選考は**・・・実行委員会から選ばれた選考員（市民、行政、学識者など）が中心になって行います。さまざまな視点から総合的に評価しますが、選考を通じて“いい川” “いい川づくり”の新たな視点や評価のポイントを探りだすことがワークショップの大きな目的の一つです。

**称え合う！**・・・選考は優劣を決めるものではありません。2日間を通じた合意の深まり、育みあいのまとめとして、グランプリや入賞作品を選び出します。入賞者には、実行委員会よりオリジナルの表彰状や副賞を贈呈し、ワークショップの成果を称え合います。

### 選考の視点・・・公開選考会では、おおよそ以下の4つのカテゴリで総合評価します。

- **発想・着眼評価**：“いい川”をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価
- **関わり評価**：地域住民と川との豊かで良好な関わり合いについての評価
- **プロセス評価**：“いい川”を育むための市民・住民参加や、さまざまな分野の人たちとの協働のプロセスについての評価
- **計画・技術評価**：川らしさの保全や、“いい川”回復のために工夫された計画手法や採用技術についての評価

### 発表の方法 別項「応募の方法」もあわせてよくご確認ください！

#### 一次選考（テーマ別テーブル選考）

- ・応募申込書の内容を参考に事前にグルーピングします。
- ・発表各3分、質疑7分程度で行います。発表者は複数でもかまいません。
- ・発表用パネル（必須）のほか、時間内にスライド、パソコン等も使用できますが、水辺の状況や活動の様子、技術の内容など全体のイメージやアピールしたいこと伝えるための写真等3点まで（パワーポイントならスライド3枚、静止画のみ）とします。パワーポイントを使用する場合は、ノートパソコンをご持参ください。
- ・ただし、パワーポイント等に頼らないユニークな表現やアピールしたい事を効果的に強調する創造的な工夫は、このワークショップでの大きなポイントの一つになります。

#### 二次選考（参加者が一堂に会しての全体選考）

- ・500人規模の全体会場（明治神宮参集殿）のステージで発表します。一次選考と同じ発表時間（発表のみ）を予定しています。スライド、パワーポイント等は使用できますが、一次選考と同様、静止画で3点（枚）までです。
- ・発表している川や水辺の全体のイメージを会場全体で共有するため、発表中、会場に写真1点/団体を映し出す予定です（発表者が使うスライドやパワーポイントとは別にスクリーンを設置予定）。川や水辺の全体の様子が見えるような風景写真（デジタル、プリントどちらでも可）を事前に送ってください。
- ・選考の各過程を想定してご準備ください。配布資料等を当日持ってくることもできます。

### その他

- ・このワークショップの目的は、“いい川”のイメージをお互い共有することにあります。従って2日間フル参加を原則とします。これまでに応募した方の再応募も歓迎します。
- ・応募申込書（様式1）とパネルの縮小版（様式2）は、当日の選考用手元資料として冊子（A4サイズ、モノクロ）にします。応募申込書に記入された個人情報については、主催者側で厳重に管理し、本大会に関わることを以外の目的では使用いたしません。
- ・22日の夜は、交流懇親会を行います。二日目の選考の重要なアピールの場ともなりますので、ぜひご参加下さい（参加費：飲み物代込みで大人3,500円、中・高校生2,000円、小学生1,500円）。
- ・学童の発表者に限り、1日目の一次選考で選外になった場合、希望者は大会2日目の午前中から数時間、多摩川での体験交流会（多摩川で遊ぼう！）に参加できます。
- ・7月10日（土）の夜、国立オリンピック記念青少年総合センターに宿泊希望の方は、様式1に記入してください（1泊2,500円ぐらい）。
- \*発表者分を優先しますが、数に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。
- ・市民の応募者で遠方の方には、旅費の一部負担（発表者1名分）を予定しています。行政の方は自己負担にてお願いします。詳しくは応募者にお知らせします。

### 応募・問い合わせ先：「川の日」ワークショップ実行委員会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-20-14-301 TEL 03-3408-2466 FAX 03-5772-1608

E-mail [kawanohi-2006@mizukan.or.jp](mailto:kawanohi-2006@mizukan.or.jp) メールアドレスがかわりました！

URL <http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

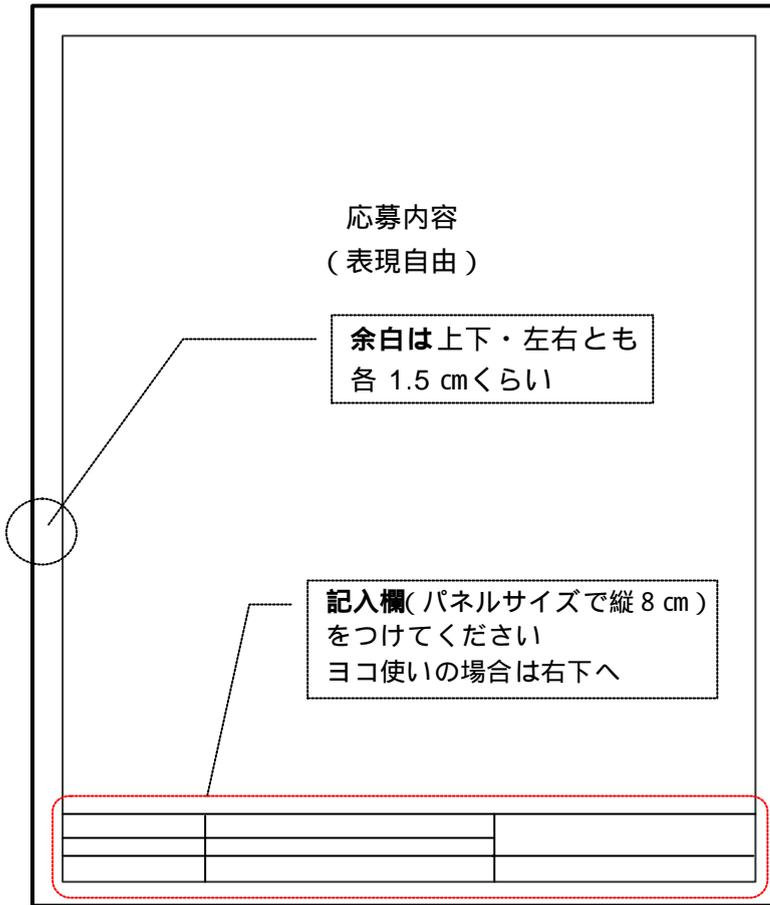
\*このワークショップは、各種助成金にて運営されます

様式1【応募申込書】

活動や事業の名称または応募に当たってのキャッチフレーズ(両方記入可)		
川や水辺の名称 *ふりがなを忘れずに!	ふりがな _____ (*川の場合 ( _____ 川水系))	
所在地	都・道・府・県 _____ 市町村 _____ 付近 _____	
川や水辺の状況 ・川幅や水深など川の形状、水質や水量、生きもの、景観や名所、洪水や治水などの状況、過去と現在の違い ・これまでの住民(行政)との関りなど		
活動や事業の内容 ・内容 ・成果 ・課題 など		
活動・事業の期間	活動の場合： _____ 年から _____ 年 _____ 回 事業の場合： _____ 年～竣工 _____ 年	
以下の項目は、一次選考会のグループ分けの参考にしますので、必ず記入してください		
主に発表したいこと いずれかに 印,複数可	調査や研究活動 / 広報や啓発のためのイベント活動 / 環境学習や体験活動 水辺の計画づくりや整備事業等への参加 / 環境保全や回復の実践活動 / その他 ( _____ )	
発表者 いずれかに 印	学童(小・中・高校生但し高校生は大人でも可) / 市民(個人,任意団体,NPO法人等) / 行政 / 官民共働 / 企業 / その他 ( _____ )	
アピールポイント 活動や事業の発想・視点の先進性やユニークさ 地域の歴史や暮らしとの結びつき “いい川”づくりへのプロセス 工夫した計画手法や技術 その他	～ の各項目で特に該当する内容があれば、番号を示して具体的な内容を記入してください。	
キーワード(3つ)		
応募者	ふりがな 応募者名 _____ 発表者想定人数： _____ 名	
	連絡先 (公開可・非公開) (自宅・下記所属・その他) 該当する方に○印	住所：〒 _____ TEL： _____ FAX： _____ E-mail： _____
	所属 (市民・行政) 該当する方に○印	所属名(団体・部署名など)： _____ ホームページ URL： _____
	これまでの参加	新規 _____ / 第 _____ 回大会参加(一次・二次・三次・グランプリ)

様式 2 【発表用パネル・パネル縮小版】

・パネル実物は A 1 ( 59 × 84cm ) サイズ , パネル縮小版は B4 サイズ , ( タテ・ヨコ使いとも可 )



発表用パネル ( A 1 サイズ )

- ・ 所定の記入欄以外は、写真や図表、イラストのほかパッチワークや川の石や草など立体的なものも可能です。こだわらず自由に表現してください。
- ・ 会期中にパネルの移動・設置があり、立てかけて展示します。発砲スチロール、厚紙等、形状は自由ですが、真直ぐ立つ強度になるよう工夫して下さい。持ち運びやすいよう二つ折りなども可 (設置するためのスタンド等はこちらで用意します)。

パネルの縮小版 ( A 4 サイズ )

- ・ モノクロ可, 選考用手元資料として使用します。実際のパネルとの多少の変更はかまいません。

共通事項

- ・ 余白は、上下・左右とも各 1.5 cm 位
- ・ 河川名には必ずふりがなを入れてください (様式 1 も同様),

記入欄 : 拡大図 \* コピーして使用可

ふりがな 川や水辺の名称	( 水系 )	活動や事業の名称または応募に当たってのテーマ
所在地	県 市町村	
応募者名 所属		( 記入不要 ) エントリー

**応募の方法** 応募申込書 ( 様式 1 ) はホームページからもダウンロードできます。

1. **応募申込書 ( 様式 1 )** 6月8日まで ( 当日消印有効 ) ( メールによる送付も可 )  
: 選考用手元資料として使用します。内容については分かる範囲で記入してください。応募者欄は、発表予定者 ( 連絡責任者 ) 複数の場合は代表者名を記入してください。
2. **パネルの縮小版 ( 様式 2 )** 6月20日まで ( 必着 )  
: 選考用手元資料として使用します。実際のパネルとの多少の変更はかまいません。
3. **発表用パネル ( 様式 2 )** 当日持参、または事前に送付。  
: 上記参照, 事前に送付される場合は、必ず事務局までご連絡ください。
4. **水辺の風景や状況、活動の様子などの写真 ( 1 点か 2 点 )** 応募申込書か縮小版とともに送付  
: 事前にエントリー団体の概要とともにホームページで紹介します。また、二次選考の発表で、会場全体でその川のイメージを共有するための写真をスクリーンに表示したいと思います。ホームページ用は活動等の様子が分かる写真でも構いませんが、スクリーン表示用の写真は全体の雰囲気分かるような写真を送ってください。  
デジタル、プリントどちらも可。返却が必要な場合はあらかじめお知らせください

別項「発表の方法」もあわせてよくご確認ください!